



FACE DUO

認知症なっても展(東京都渋谷区)での活用

渋谷区での活用のきっかけ(主催者の声)

認知症ケアにおける専門的な視点を、誰にでも分かりやすく伝えられる点を評価し、イベント期間中の常設展示の一つとしてFACEDUOを活用しました。
VR体験と解説が一体となっていることで、理解が表面的に終わらず、実際の関わり方まで具体的に学べる構成になっている点、また、操作がシンプルで準備の負担が少なく、限られた時間や人員でも実施しやすい点は、主催者側にとって大きな利点でした。



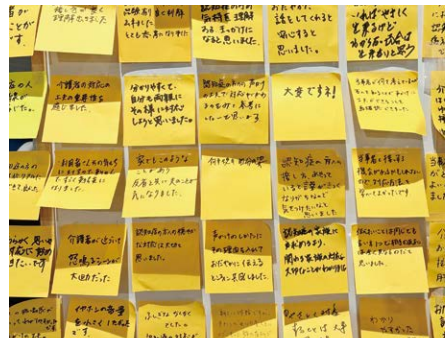
認知症ケアを「知識」から「体験」へ

【開催概要】 ● 開催期間：3日間 ● 来場者数：延べ478名 ● VR体験者数：167名

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を目指し、「認知症なっても展SHIBUYA」を開催しました。本イベントでは、講演やトークショー、映画上映などに加え、FACEDUO(認知症ケア支援VR)体験ブースを設置し、認知症の方の視点や気持ちを多くの方に体験をいただくことができました。



体験ブース



感想を付箋で共有



会場の写真

体験者の声

【介護・支援に関わる方の気づき】

「とてもわかりやすく、今後の声かけに活かしたいと思いました」 「これまでの家族への対応を振り返る良い機会になりました」
「本人の気持ちを知ることで、関わり方を工夫できると感じました」 「焦ると強い言葉になりがちなので、穏やかに接したいと思います」
「本人ではなく、自分の対応を変えることの大切さを学びました」

【認知症への理解が深まった】

「認知症を当事者の視点で考える大切さを知った」「認知症の特性を具体的に理解できた」

【VR体験ならではの学び】

「臨場感があり、内容が理解しやすかった」「その人の視点に立って集中して学べるができる」



皆さんに感想を書いていただきました。他の方の感想を読んでいる方も多く、さらに理解を深められる機会になったように考えます。



自治体・企業が選ぶ

地域支援の

新しいスタンダード

— 認知症ケア支援×フレイル予防支援VR —

高齢化が進む今、必要なのは「知る」だけではなく、体験し、理解し、行動につなげる支援が求められています。

FACEDUOは、VRによる双方向の学びで、地域課題に確かな解決策を提供します。

認知症ケア支援VR

- 認知症の方・介護者の方
それぞれの目線で、介護者が戸惑った体験をします。
- 認知症の方の気持ち、行動の背景を理解し、具体的な対応が学べます。
- 体験と行動の分析をセットで行い、感情に頼らない、再現性のあるケアを目指します。

フレイル予防支援VR

- 加齢にともない起こる心と体の衰え——
「フレイル（虚弱）」の状態をリアルに体験します。
- 握力の低下や歩行の衰え、むせやすさなどの変化を自分ごととして感じることで、早期の気づきと予防行動につなげます。

プラン詳細・お申込みは
こちらから



FACEDUOについて詳しく知りたい方は公式サイトをご覧ください。

▶ <https://www.faceduo.jp/>

15日までのお申込みで、翌月1日よりご利用頂けます。（短期プランは1日～末日までのご利用です）